

## トピックス

### 【製造業】

- ① 鉄材の値上がり、ガス溶接等のガス値上がり、オイル(加工用)等の値上がりで売上は高くなっているように一見思えるが、純利益は前年度と変化なし(鉄工業)
- ② インターネット等の進歩、ペーパーレス時代、小口なチラシ・ハガキ等が個人印刷の時代となり、特殊なもの以外の受注減少が先行き続きそうで不安(印刷業)
- ③ 景気回復は大企業レベルの話しであって中小企業まで仕事が出て来ない。利益率の確保をするため、技術力を向上させより難易度の高い仕事をするようにしたい。人材確保が非常に困難
- ④ 仕入材料の高騰(特にステンレス)により、客先の受注減少、景気は改善されていない
- ⑤ 材料費が毎月のように値上がり、売値は変わらずまさにコストがアップしている他、工具等も値上がりしている
- ⑥ 材料(特にステンレス)の値上げが止まらない
- ⑦ 売上減少、加工単価低下

### 【建設業】

- ① 材料の高騰(電線、ケーブル、鋼材のパイプ類)、公共工事の積算価格圧縮の傾向大
- ② 工事単価が安いとその割には忙しい、景気はよくないと思う
- ③ 同業者で忙しいという声も聞こえ、全体的には景気がよくなっているのか・・・という不安感がある。今までと逆の減少
- ④ 工事減量からくる競争激化、販売単価の低下に連なり、今後の予測は厳しい
- ⑤ 受注単価の低迷
- ⑥ ダumpingによる低価格受注
- ⑦ 従業員の不足、諸経費の増加

### 【卸・小売業】

- ① 経済の二重構造の格差拡大が進展している
- ② 食の安心・安全から、無添加食品の伸びはしっかりとしたものを感じられる
- ③ 4月から受注単価が上がるので、資金繰りがよくなる見込み
- ④ 競合店と差別化した商品は確実に売上を上げている(お客様が求めている物)
- ⑤ 消費者の動向として、景気低迷期は推奨してもなかなか財布の紐が硬かったが、「良い物は良い」ということで、次第に緩くなって来ている

### 【卸・小売業】

- ⑥ 景気好調感がない
- ⑦ 受注はあるが人手不足(パート)  
石油は日本に無い物なので元売より買う方法しかなく、全くの自由競争で仕入れることが出来ない特殊なもの。一SSの企業努力では解決できる簡単なものではない
- ⑧ なく、本業の採算より用品や他の商品・作業など油外収益で収入を図る努力をしているのが現状、本来の「油を売って採算が取れる」のが当たり前になって欲しい

### 【飲食・サービス業】

- ① 不景気
- ② 景気に関係なく推移しているが、商品の確実性・必要性を熟知している消費者が多い、高齢化の波を感じている(栄養補助食品の取扱)
- ③ 地道な努力しかないと思う、インターネットの噂で来る人が多い(美容)
- ④ 建設関連事業所は殆ど公共・公益事業に依存している、公共事業の大幅減少による受注の激減。業者数の増大と競争の激化(測量)